

令和6年度 学校経営計画書

石川県立小松工業高等学校

校長 室田 昌一

1 教育目標

- ① 工業の専門高校として、地域産業の発展に貢献できる有為な産業人を育成する。
- ② 誠実を尊び、規律を守り、豊かな心、たくましい体力と実践力を持った人材を育成する。
- ③ 自ら専門技術の錬磨を図り、科学的な探究心を持ち、創意工夫する人材を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 時代のニーズに応えた工業の専門学科（機械システム、電気、建設、材料化学）を有し、実践的な工業技術や先端技術を身につけた地域産業を支えるスペシャリストを育成している。
- ② ものづくり人材の育成を主眼とした、「地域産業の発展に貢献できる有為な産業人の育成」を通して、地域から信頼される工業の専門高校であり続けている。
- ③ 個に応じた進路実現を念頭に置き、きめ細かな学習指導や生徒指導を行うとともに、多彩な学校行事や部活動、生徒会活動等を通し、自律性に富み、豊かな心、たくましい体力を身につけた生徒を育成している。
- ④ 少子化が進む中、普通科志向が強まっており、本校への志願者数が減少傾向にある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 学校での授業・実習を基本にし、家庭学習や朝学習を習慣づけることにより、基礎学力の定着を図る。
- ② 基本的な生活習慣を確立し、心身ともに充実した高校生活を送ることを目指す。
- ③ 専門教科・領域への興味・関心を高めるとともに、職場体験等を通して勤労観・職業観の育成を図る。
- ④ 学校行事、部活動、生徒会行事等の活動を通して、互いに協力することの大切さや、自己の役割と責任について自覚し、コミュニケーション能力の育成に努める。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 学校経営計画書に基づき教職員の意識改革を図り、主任を中心とした教職員が一体となった機動的な学校組織運営に努めるとともに、各教職員が業務効率化に取り組み労働環境の改善に努める。
- ② 若手教員早期育成プログラム及びG I G A校内研修を充実させ、授業公開を積極的に実践し、教職員自らの授業力向上を図る。
- ③ 本校の教育活動を保護者、地元企業、地域等に対して、様々な機会 で情報発信し、開かれた学校づくりに努める。

3 今年度の重点目標

- ① 1人1台端末を効果的に活用しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進することにより、基礎的な知識・技能の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力等の育成を図る。
- ② ものづくりによる実践的な技術・技能の習得や、デュアルシステム等の体験的学習に積極的に取り組み、地域産業の発展に貢献できる有為な産業人の育成と個々の生徒の適性に 応じた進路の実現を図る。
- ③ 「学警連携」「部活動の活性化」「教員の組織連携強化」「いじめ防止のための取組」「校内研修の充実」等を通して、生徒の規範意識やマナーの醸成を図り、生徒にとって安全・安心な学校づくりを目指すとともに社会人として必要な人間力を備えた人材の育成を図る。
- ④ 本校の魅力やものづくりの楽しさの情報発信を充実させ、本校を志望する中学生の増加を図る。